

各学科及び一般教育の教育目標

【建築・生活デザイン学科】

都市から建築・インテリアまで、幅広い生活環境について、工学的・デザインの・社会的観点など広い見地から捉えながら、「建築デザイン」、「建築エンジニアリング」、「生活デザイン」の3専門分野を骨格としつつ、相互の関連についても教授していくことで、快適で安全な建築・住空間及び都市の構築と創造に寄与する人材の養成を目標とする。

- ① 建築・生活デザインに関する幅広い専門知識及び技術を適切に活用できる能力を養成する。
- ② 豊かな教養及び建築・生活デザインに対する広範な視野に基づいたコミュニケーション能力を養成する。
- ③ 社会に貢献する設計者・技術者としての高い倫理観及び優れた問題意識に基づいた問題解決能力を養成する。
- ④ 社会状況の変化に応じて様々に展開される新しい局面に対応し得る、自ら学び、考え、創造する姿勢を養成する。

【ものづくり・サイエンス総合学科】

広く理工学の分野に対して旺盛な知的好奇心を持ち、基本的な生活習慣及び自律的な学習習慣を身に付けるとともに、科学・技術が社会に及ぼす効果や影響を理解し、論理的・自立的な判断に基づいて、客観的な視点から自己の意見を主張できる人材の養成を目標とする。

- ① 専攻する専門分野における基本的知識及びその応用について、体系的に理解するために必要な数学・物理学・情報通信技術（情報リテラシー）の基礎を修得させる。
- ② 「機械」、「電気電子」、「情報」、「物理学」、「数学」のうち一分野について、基本的な知識及びものの考え方を修得させる。
- ③ 情報通信技術（情報リテラシー）を活用して、多様な情報や知識を収集し、複眼的・論理的に分析・整理して表現できる能力を養成する。
- ④ 自らの思考・判断のプロセスを説明し、伝達するためのプレゼンテーション能力及びコミュニケーション能力を養成する。
- ⑤ 修得した専門知識・汎用的技能・幅広い教養を総合的に活用しながら、自ら課題を設定し、それを解決するために必要な創造力と自律的に学習する能力を養成する。

【生命・物質化学科】

生命を構成している物質や生命活動に関わる反応を理解するための基本的な知識とともに、無機・有機物質や化学プロセスに関する実践的で有用な知識を身に付

け、持続可能で健康な人間社会の構築や環境保全に貢献できる自主的で創造性豊かな人材の養成を目標とする。

- ① 自主創造の基礎となる幅広い教養及び豊かなコミュニケーション能力を養成する。
- ② バイオテクノロジー及び環境保全に対する強い関心を育み、生命を構成している物質や生命活動に関わる反応を理解するための基本的な知識を修得させる。
- ③ 新素材の開発及び化学プロセスに対する強い関心を育み、無機・有機物質や化学プロセスに関する実践的で有用な知識を修得させる。
- ④ 新たな問題に直面したとき、修得した専門知識・汎用的技能・幅広い教養を統合し、自主的かつ創造的に解決しようとする強い意志と能力を養成する。

【一般教育（3学科共通）】

〔目 的〕

国語力及び英語力の向上を図り、人文・社会・自然科学全般にわたる深く幅広い教養に根ざした論理的思考力と高度な科学技術専門教育に耐え得る基礎学力を培うとともに、知・徳・体の調和に配慮し、知的好奇心に富み、何事にも真摯に取り組むことなど、各学科の教育研究上の目的を達成する上で基盤となる知識・技能・態度等を養成する。

〔教育目標〕

個々の学生の学習到達度（習熟度）を正確に把握し、それに合わせたきめ細かい教育・指導を行うことにより、1年前学期終了時までには、すべての学生が専門教育に耐え得る基本的知識・技能を身に付けることを目標とする。

- ① 全学生に対して、理工系短期大学教育に必要な基礎知識・技能、特に数学・物理に関する正確な知識を修得させる。習熟度の高い学生については、より高度な知識の修得を併せて教育・指導する。
- ② 実験レポートや演習課題への指導を通じて、論理的・分析的に考える力、必要な事項を自ら調査する態度、自分の考えをきちんと論理的に説明する能力を養成する。
- ③ 人文・社会・自然科学の様々な知識を学ぶことを通じて、社会人として身に付けておくべき教養とは何かを示し、狭い興味にとらわれずに自ら知識を探求する態度を育む。
- ④ スポーツ等を通じて、健康的に社会生活を送るための基本的な生活習慣について教育・指導する。
- ⑤ 国語力（読解力、文章表現力等）を養成するとともに、英語によるコミュニケーション能力の向上を図る。